

地域の自主防犯活動



【天白学区】

■世帯数：5,978 世帯

■人 口：14,536 人

■面 積：2.010km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 地域の自主防犯活動として、学区全体を対象とした青色回転灯車による「青色パトロール」の実施と学区の特定地域を対象とした徒歩による地域防犯パトロールを実施。
- 延べ参加者数は約 170 人。

【住民への PR 方法】

天白学区連絡協議会の各団体から参加者を募集した。

【アピールポイント】

特定地域を対象とした徒歩による地域パトロールと全学区内を対象とした車による青色パトロールの組合せ。

2 きっかけ、背景

地域の高齢化が進み、道路事情等が変化する中、住民との情報共有、意識啓発の必要性を感じ、安心・安全なまちづくり活動の一環として活動を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、女性会、子ども会、老人クラブ、島田神社氏子総代会
計約 60 人

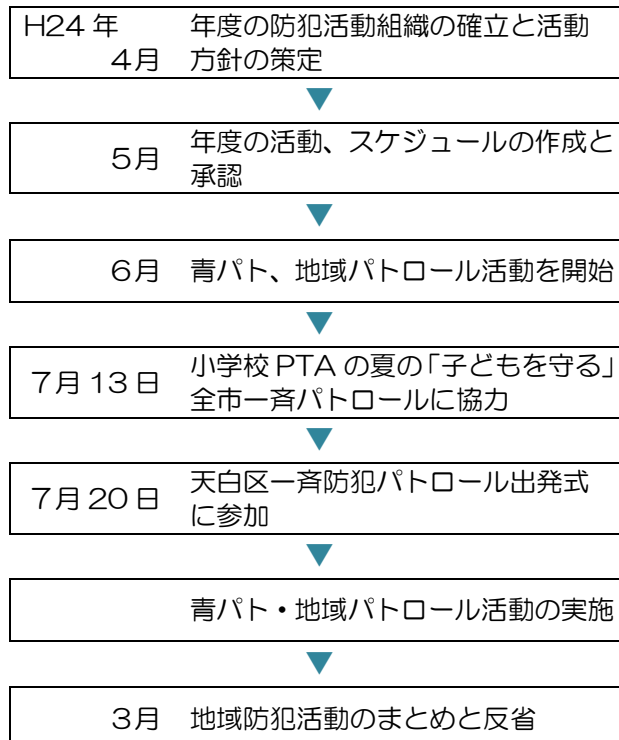
(2) 他団体との協力

区政協力委員、民生委員児童委員、女性会、子ども会、島田神社氏子総代会、老人会、ボランティア

(3) 運営協力

天白学区連絡協議会の参加組織による協力を得ている。

4 実施のスケジュール



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・パトロールの参加者が増加し、住民間の交流が深まった。
- ・区政協力委員の改選により活動メンバーが大幅に交代したが新メンバー相互の交流が始まった。

(2) 苦労した点

- ・区政協力委員の改選のたびに、中核メンバーが交代するので体制の確立にエネルギーが必要である。
- ・他団体との協力体制の維持に苦労している。

(3) 今後の課題・展望

- ・地域の犯罪ハザードマップの作成などパトロールを効果的に行う工夫が必要である。
- ・運営費を捻出し、活動を継続することが課題である。

